

令和元年度 第10回 喜多方市立図書館 利用者のつどい 議事録

日時 : 令和元年10月20日(日) 13:30~15:00

場所 : 喜多方市立図書館2階 第2閲覧室

出席者 : 公募4名(一般)、中央公民館1名、図書館3名

配布資料 : ①『喜多方市立図書館利用案内』

②『図書館だより(ききみみずきん、わくわくとしょかんメール、喜多方図書部)令和元年度発行(春・夏・秋号)各1(※喜多方図書部は秋号のみ)』

③『令和元年度喜多方市立図書館事業案内』

④『令和元年度喜多方市立図書館主要業務実施概要』

⑤『喜多方市立図書館の概要2019』

⑥『新聞雑誌一覧』

1. 開会

2. 主催者挨拶(喜多方市立図書館 館長)

3. 図書館担当課挨拶(中央公民館 主事)

4. 議事(1) 喜多方市立図書館 現状報告

(2) ディスカッション

<テーマ>

- ① 図書館の催し物について
- ② 図書館広報紙の内容について
- ③ 意見交換(ご意見ご要望等)

配布資料①~⑥を用いた現状報告を喜多方市立図書館より説明後、各テーマについて意見交換を実施。

テーマ①図書館の催し物について ご質問・ご意見等

利用者 A 催し物について少子化、市町村合併で範囲も広がっている。
中高生くらいであれば図書館に足を運ぶのも難しくないと思うがそれ以前の小さい子供となると難しいのではないかと考える。反対に図書館側から小学校・幼稚園等に出向いて催し物を行うことも必要なのではないか。

図書館 学校への催し物については図書館見学や町探検、職業体験の依頼も多いことから、受付方法などを載せたスクールプログラムを作成し、小中高の各学校にお配りし、対応しております。また、市内の全小中学校に学校司書が配置となっており、同じ図書館流通センターで運営しています。学校司書とは、週1回は顔を合わせる機会もあり、情報交換も行っておりますが、今後はもっと密に情報共有していき、そういった催し物も検討していきたいと思います。

利用者 B 学校司書というのはいつ頃からできたものなのですか。

図書館 平成27年度1月から立ち上げ、同2月から配置開始となっております。当初は3人で9校を受け持ち、3年かけて9人、現在では市内全小中学校（24校）に配置となっております。

利用者 A 子どもの場合は、親の付き添いがないと図書館に足を運ぶのは難しいと思うので学校司書という取り組みはとても良いと考える。その他にこども園等に20～30冊まとめて貸し出す方法などはあるのか。

図書館 熱塩小、加納小、高郷小、山都小、姥堂小には学校司書経由にて、50冊・期間1ヶ月の団体貸出を行っておりますが、こども園については行っていませんでした。今後はこども園等も視野に入れ、検討して参りたいと思います。

利用者 B 児童書に関して学校の図書室と図書館では図書館の方が冊数は多いのか。

図書館 多いです。

利用者 B 学校によって所蔵冊数を変えてはいないのか。

図書館 学校によって標準冊数があり、現在ではどの学校もクリアできていま

す。しかし、学校図書については予算の関係もあり、学校に置いてある本はどうしても古いものになってしまう現状があります。

利用者 C 催し物については今のままで充分だと思います。人が集まらないからといって色んなものをやれば良いという訳ではないと思う。「図書館らしさ」を大事にしていった方が良くと思う。

利用者 A 購入雑誌・新聞について種類が多いように感じるが利用頻度はどのくらいなのか。多ければ多いものを増やせばいいとも限らないが、週刊誌なんかを入ればより利用する人が増えるのではないか。

図書館 2～3年に1度は利用頻度も合わせて、検討・入れ替えを行なっていますが偏りが出てはいけないうえ、難しいところでもあります。また、先日行ったアンケートにも「週刊誌を入れて欲しい」、「もっと雑誌を増やして欲しい」とのご意見も多く見られました。現在、週刊誌に関しては「週刊ダイヤモンド」を入れていますがこの他に増やすのは難しい現状です。また、若い方向けの雑誌が少ないのではないかという意見もあり、「non no」や「with」などを置いています。他の図書館では中高生向けに「ユーチューバーになろう」という雑誌を置いているところもありますが、現時点での入れ替えは考えていません。

テーマ②図書館広報紙の内容について ご質問・ご意見等

図書館 わくわくとしょかんメールは全小学校、ききみみずきんは一般の方、喜多方図書館は中高生向けに2000～2500部ほど印刷し、配布しています。広報によって中高生の利用を増やしていきたいと考えていますが、現状として勉強や部活、委員会等で忙しく、読書の時間が取れないといったお話や朝の読書時間でも図書室で借りた本ではなく、自分で購入したものを読んでいるといったお話が聞かれています。以前に、学校図書の利用が少ないため、喜多方一中の学校司書が「なぜ図書館で本を借りないのか」というようなアンケートを行ったところ、「本が古い」、「誰が読んだかわからない本を読みたくない」といった意見が寄せられたそうです。

利用者 C 今の子どもたちは昔と考え方が変わってきている。人が使ったものは使いたくないとか、そういった理由で図書室で本を借りない子供たちが増えてき

ている。広報誌で中高生向けに発信をしていくのはいいことだと思う。

利用者 A ききみみずきんはどのように配布しているのか。公民館に配っているとのことだがあまり見たことがない。こちらから出向かなければ見る機会はないと思われる。年4回発行であれば、市の広報に合わせての配布や回覧などの方法もとってみても良いのではないか。

利用者 C ききみみずきんに関してはあまり目にしたことがない。公民館に行く人も決まっているし、Aさんが仰った回覧などは良い方法ではないか。

図書館 ききみみずきんに関しては公民館、社会福祉協議会などに配布しています。市の広報と合わせて配布となると、『広報きたかた』と内容が重複してしまうこともあり、各個配布は難しい状況です。また、回覧を行うにしてもなかなか難しい現状があります。

テーマ③意見交換（ご意見ご要望等）

利用者 A 図書館運営をされていて困ったことや設備上などの問題点があれば教えていただきたい。また、書庫に保管している本も多く、開架の本が少ないように感じる、半分ほど開放できれば利用しやすいと考えている。

図書館 時折、困ったご利用者様が来館され、対応に困るということがあります。また、書庫に関しては設備上全体的に狭く、天井が低いこともあり、常時一般開放できる状態となっております。その為、春・秋に1日書庫開放デーを設け対応しています。

利用者 A 新館という話も出ていると聞くが、現在の場所が望ましいのではないかとと思う。30~40年経っているが、建物自体はしっかりとした構造であるし、駐車場が狭いとのことだが充分なのではないかと考える。3階の郷土民俗資料館に関してももっと有効活用できるのではないか。

利用者 B もし、残るのであればエレベーターをつけてもらえればありがたい。

図書館 建物は47年経っていることもあり、階段自体も1段1段が高く、高齢の

方にとっては2階の利用は難しいかと考えています。また、駐車場に関しては普段の利用であれば特に問題はありませんが、イベントを行なう際、足りなくなってしまうことも多く、一中の駐車場をお借りしている状況です。エレベーターの設置ということですが新館建設のお話もあり、現時点では考えておりません。

利用者 C 絵本についてタイトルで探すことが多いため、「タイトル」順だとありがたい。

図書館 絵本に関しては、絵を描いた人（画家）の名前順に置いているのが公共図書館では一般的な為、入れ替えは考えておりません。

利用者 A 2階学習室に辞書等を置いた方が使いやすいのではないかと。

図書館 辞書の多くは1階に置いておりますが、2階学習席にも何冊か辞書を置いておりました。配置に関しては今後検討していきたいと思っております。

5. 閉会